

夢洲開発・カジノやめよ

大阪市議会 井上議員が反対討論

企業会計決算を認定

大阪市議会は21日の本会議で、2021年度の公営・準公営企業会計決算を、日本共産党以外の賛成多数で認定しました。日本共産党の井上浩

舞台にした開発など、公金の途方もない無駄遣いや、「何でも民営化」を前のめりになって推進してきた決算であり、容認できないと主張しました。

カジノ予定地の鑑定評価に当たり、市がIR・カジノを「考慮外」とするよう指示したことで、賃料は大幅値引きとなったと指摘しました。1平方

議員は反対討論で、カジノを核とする統合型リゾート(IR)誘致をはじめとする夢洲(ゆめしま)を

井上氏は、カジノ予定地の土壌対策で市が負担する約790億円のうち、液状化対策の410

億円は、積算も施工業者との契約もすべてIR事業者任せだと批判。「事業者の主張をうのみにするのではなく、市の責任で行うべき」と述べまし



井上浩氏

た。

「こうした事態を見過ごして国が(IR)誘致計画を認可するなら、国の見識も問われる」と断じました。